

7 種漢方健康飲料の未病改善効果

國香清¹⁾, 周建融²⁾, 横溝和美²⁾, 宮田健²⁾

¹⁾ 国際漢方研究所医療学術部門 〒964-0111 福島県二本松市太田字寺沢 21-1

²⁾ 崇城大学薬学部未病薬学研究室 〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

【要約】

7 種漢方成分含有健康飲料 MRSJ の未病（便秘, 冷え症, 肩こり）改善効果を, 計 615 名の女性を対象にアンケート調査し, マウスを用いて腸内細菌叢と血流量への効果を調べた。

MRSJ 飲用群の未病改善率（改善群＝著しく改善+少し改善とそれ以外の群＝変化なし+少し悪化+著しく悪化の人数比）は, 便秘 60.3%, 冷え症 54.5%, 肩こり 60.0% で高かった。一方, 非飲用のコントロール群の改善率はそれぞれ 25.8%, 25.0%, 29.6% のみであった。MRSJ 飲用群内での未病改善率は, 飲用指数（1 日当たりの飲用本数 x 飲用年数）と関連した。飲用指数 5.0 以下の群（47.6%, 48.1%, 51.4%）と比較すると, 総飲用量の多い 10.1 以上の群で, 改善率の有意な上昇が認められた（63.0%, 62.6%, 64.8%）。

マウスの糞便中の乳酸菌数は, コントロールマウス群の 211 ± 13 ($\times 10^6$) と比較して MRSJ 飲用群では 241 ± 4 ($\times 10^6$) で, 有意に増加した。冷水負荷後のマウス足底の血流量は, MRSJ 群で速やかに回復し, 30 分後ではコントロールの 22.8 ± 3.3 に対して 34.5 ± 2.8 (ml/min/100g) と有意に回復し, 以後 35、40、50 分後も有意であった。

以上の結果から, MRSJ の継続飲用は便秘、冷え症および肩こりの改善率を高めたので, 抗未病飲料としての可能性が示唆された。

【KEY WORDS】

漢方, 未病, 改善率, 飲用指数